

スナメリ かわら版

大村湾周辺に
お住まいの皆様
の情報誌です。



大村湾の現状について.....	2	→	6
大村湾環境保全・活性化行動計画について.....	7	→	11
平成16年度に取り組む事業.....	12		13
事業紹介.....	14		15
懇話会委員から大村湾周辺にお住まいの皆さんへ.....	16		17
情報ひろば.....	18		19
クイズの解答.....	19		
特集 大村湾の希少動植物.....	20		



皆さん、こんにちは！
長崎県知事の
金子原二郎です。

大村湾の環境や特性を活かした地域づくりについて、主役である住民の皆さんと一緒に取り組むために、この「スナメリかわら版」を創刊しました。大村湾との関わりや大村湾への想いを、皆さんそれぞれにお持ちだと思います。皆さんのそうした想いはじめ、大村湾をきれいにするために私たちにもできることや昔から言い伝えられている生活の知恵などを「スナメリかわら版」を使って発信していただき、皆さんの情報誌として育てていきたいと思っています。

大村湾の現状について

大村湾については、目の前にありながら意外と知らないこと、気づかないことが多いのではないのでしょうか。

そこで、大村湾の特徴、自然などの概況、大村湾の産業、大村湾の水質について説明します。

1 大村湾の概況

大村湾の特徴

大村湾は、長崎県の西彼杵半島と大村市・東彼杵郡にはさまれた大きな湾です。波が静かで穏やかで、古くから琵琶湖にたとえて「琴湖(きんこ)ことこのうみ」の別名で呼ばれています。

大村湾と外の海とは直接つながっており、大村湾と外の海との間には佐世保湾があります。また大村湾の水と外の海の水が入れ替わるのは、川のように幅が狭い早岐瀬戸と針尾瀬戸を通してだけなので、水の入替わりにかなりの時間がかかります。



大村湾に浮かぶ無人島の島々(西彼町)

大村湾の基礎知識

- ◎沿岸線長 360km
- ◎湾面積 320km²(県土面積の8%) (南北26km、東西11km)
- ◎水深 平均14.8m(最大54m)
- ◎流域人口 274,573人(平成15年3月末:県全体の18%)
- ◎流域面積 564km²(県土面積の14%)
- ◎流域における森林面積 416km²(平成9年:県土面積の10%)
- ◎島の数 58(0.001km²以上:平成13年10月1日現在)
- ◎地方港湾(9)、56条港湾(2)、漁港(13)、2級河川(29)
(平成14年3月末)

大村湾の自然

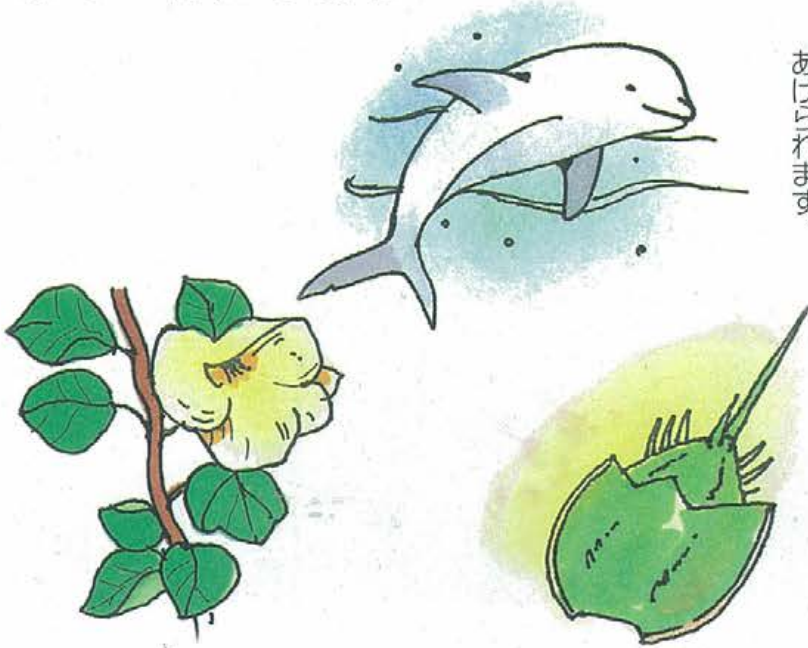
大村湾は、四方を陸で囲まれ、見ると湖？と思われるほど細かい湾口から袋状に内陸部に入り込んでいる湾です。そのため、外の海の影響を受けにくく、湾内における干満の潮位差もわずか0.9mほどです。また、湾内には大小の半島や岬によって形上湾や村松湾、さらには時津湾や津水湾などの枝湾が形成されています。



このように周囲を小高い山々に囲まれた大村湾は、穏やかな海面に変化に富んだ山影や無数の島影を映し、墨絵のような美しい景観を形づくっています。また、そのすばらしい自然景観により、昭和41年には大村湾岸域の多くが大村湾県立公園に指定されました。

一方、大村湾はその自然景観の美しさだけではなく、そこに棲む生きものにも極めて興味深

いものが見られます。大村湾と外の海との海水交換は、針尾瀬戸、早岐瀬戸の二つの狭い瀬戸を通して、さらに佐世保湾を介して行われることから、湾内は朝夕の影響を受けにくいものとなっています。そのため、大村湾にはこの環境に適応した非常に特殊な生きものや、他の海域と同じ種類の生きものであっても、遺伝的な変異が生じている種類も多いと言われています。なお、大村湾を代表する生きものとして、動物ではスナメリやカブトガニ、植物ではハマボウがあげられます。



2 大村湾の産業

水産業

大村湾では、小型底びき網、刺網、小型定置網などによるナマコ、シャコ、エビ漁などのほか、真珠やカキの養殖なども行われています。しかし、最近はとれる量が減っています。



大村湾のシャコ

農業

大村湾の周りの地域では、ミカン、ブドウなどの果物の栽培が盛んなほか、イチゴ、アスパラガスなどのハウス栽培や肉用牛の飼育も増えています。また、観光農園や農産物直売所もたくさんあります。



させぼ温州みかん「出島の華」

観光

大村湾の周りには全国でも有名な大型観光施設のハウステンボスをはじめとして、いろんな種類の観光施設がたくさんあって、年間二千万人の観光客が訪れます。また、大村湾の中には空港があり、長崎県の空の玄関口になっています。



© ハウステンボス/J-7272

クイズ①

黒田五寸人参は全国的にも有名ですが、その名前の由来や特徴について、ご存じですか？

答えは19ページです。

大村湾周辺地域の 観光施設・特産品

【波佐見町】

- ◎観光施設等 陶芸の里中尾山、波佐見町陶芸の館、野外博物館「世界の窯広場」
- ◎特産品 波佐見焼、なし、茶

【川棚町】

- ◎観光施設等 くじやく園、大崎キャンプ場、農産物直売所「グリーン東彼新鮮市場」
- ◎特産品 ナマコ、小串とまと

【佐世保市】

- ◎観光施設等 ハウステンボス、西海橋
- ◎特産品 三川内焼、佐世保こま、西海みかん

【西彼町】

- ◎観光施設等 長崎バイオパーク、西海橋、農産物直売所「旬どころ」
- ◎特産品 デコボン、ミカン、地鶏卵

【東彼杵町】

- ◎観光施設等 龍頭泉&いこいの広場、河川公園「やすらぎの里」歴史公園「彼杵の荘」(歴史民俗資料館、道の駅)
- ◎特産品 そのぎ茶、イチゴ、アスパラガス



【琴海町】

- ◎観光施設等 長崎リゾートアイランドパサージュ琴海、農産物直売所「きんかい味彩市」
- ◎特産品 長浦すいか、ハウスミカン、ミニトマト

【大村市】

- ◎観光施設等 大村公園、野岳湖公園、フルーツの里福重
- ◎特産品 大村寿司、松原鎌、黒田五寸人参

【諫早市】

- ◎観光施設等 熊野神社、風観岳支石墓群、薬師堂磨崖仏
- ◎特産品 おこし、うなぎ、清酒

【多良見町】

- ◎観光施設等 多良見町のぞみ公園・会館、伊木力みかんシャベット「このみちゃん」、農産物直売所「長崎街道みかん宿」
- ◎特産品 伊木力みかん、喜々津味噌、かぼちゃ饅頭

【長与町】

- ◎観光施設等 中尾城公園、長崎温泉喜道庵、農産物直売所「じげもん長与」
- ◎特産品 ミカン、びわ、いちじく

【時津町】

- ◎観光施設等 崎野自然公園、文化の森公園、農産物直売所「JAことこのうみ時津ふれあい市場」
- ◎特産品 時津饅頭、ミカン、ブドウ

3 大村湾の水質について

大村湾の水質の状況

大村湾には、川などを通じて、みんなが台所、洗濯などで使った水が流れ込みます。これらの水(排水)の中に、水を汚す物質が入っています。

大村湾の周りには家や工場がたくさん建っていますが、これらから大村湾に流れ込む「水を汚す物質」(水質汚濁負荷物質)は、大村湾の水

と外の海の水の入れ替わりが少ないため、大村湾の外へ出て行きません。こうして大村湾に汚れがたまっていき、昭和五十一年以降、水質が環境基準(環境を維持するために望ましい基準)を超えている状況がもう三十年近くも続いています。

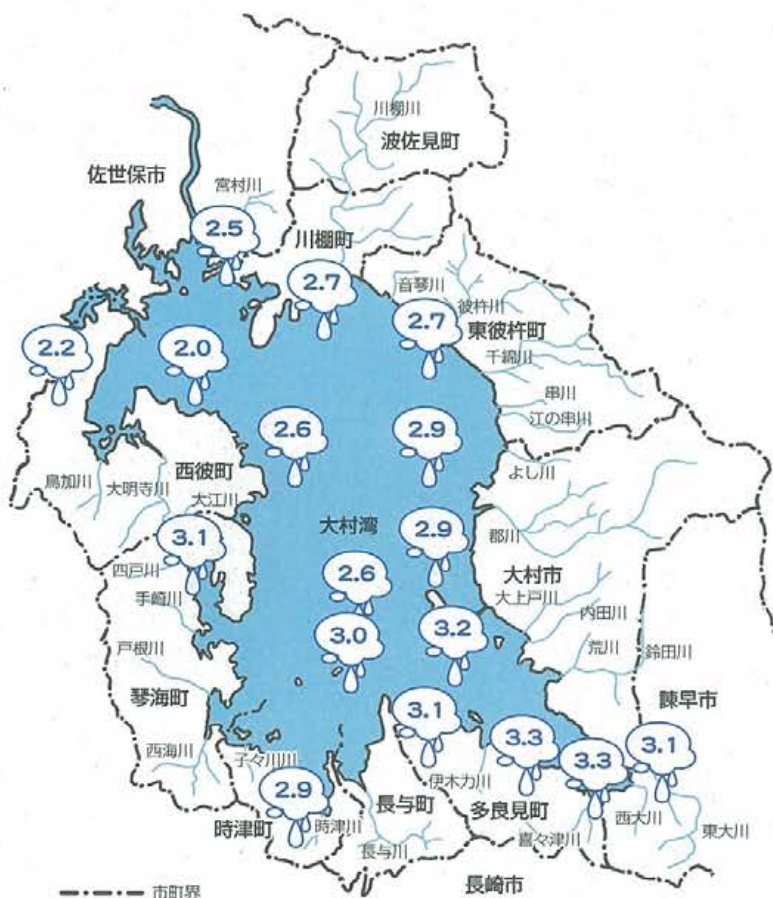
海を守るための対策

排水に含まれる「水を汚す物質」が海に流れ込まないように、家庭からの排水は下水処理場などで、また、工場からの排水は工場内の浄化施設などできれいにされてから、大村湾や川に放流されています。(大村湾の周りの家庭のうち、四分の三の家庭からの排水は、下水処理場などできれいにされています。)

他にも、水をきれいにする技術の研究開発や、魚など生きものの「すみ家(藻場や魚礁など)」を造るなど、大村湾ではいろいろな取り組みが行われています。

大村湾におけるCOD値(平成14年度)

全湾平均 2.8mg/l ●環境監視測定(環境政策課)
環境基準 2.0mg/l 大村湾内 17点.12回/年



クイズ②

CODってむずかしそうなお名前ですが、その意味について、ご存じですか？

答えは19ページです。

大村湾環境保全・活性化 行動計画について

今回、策定しました「大村湾環境保全・活性化行動計画」の内容や特徴及び重点的に取り組むべき事業内容について説明します。

1 計画の内容について

この計画は、大村湾を宝ものとしてまもり育み、次の世代に引き継ぐために、行政だけでなく、大村湾の周りに住んでいる人たちみんながいつよになつて何にどう取り組むか、その一番大事なところをまとめたものです。大村湾の水質改善や自然環境の保全を進め、大村湾の周りの地域を活性化するための基本的な考え方として、次の四つの柱を立てて、そのために重点的に取り組む内容(八ページ〜十ページ)を示しています。

計画の期間は、平成十六年度から二十年度までの五ヶ年です。

2 計画の特徴について

大村湾をきれいな海にして、よりすばらしい宝ものにするには、行政とともに住民、関係団

体、大学・研究機関などいろいろな人が連携、協力して、それぞれができること、得意なことに取り組むことが何よりも一番大事です。だから、この計画では、四つの基本的柱のひとつに「大村湾の自然と環境をまもり育む住民参加の促進」を掲げています。

四つの基本的な柱

- 一、大村湾の海、山、川を一体としてとらえた総合的な環境保全の推進
- 二、自然とふれあえる大村湾の再発見
- 三、大村湾の特性を活かした水産や観光などの産業の振興
- 四、大村湾の自然と環境をまもり育む住民参加の促進

スナメリと共にくらせる
湖(うみ)づくり



3 重点的に取り組むべき事業の内容

環境保全

大村湾の海、山、川を一体としてとらえた総合的な環境の推進

大村湾の水をきれいにするためには、いろいろな人たちの協力が必要です。

湾の中だけでなく、山、農地、市街地、川を大きなひとつのまとまりと考えて、それぞれ関係する場所で、次の三つのことにみんなで取り組むことが必要です。

○民間や大学などと一緒に、安くて簡単に「水を汚す物質」をきれいにする技術の開発、実用化を目指します。



<アイガモによる除草>

3 湾岸・流域における自然浄化能力の向上・維持・活用

○川や海を工事するときは、その環境に十分配慮した方法で工事を進めます。

○森や田、畑などは、「水を汚す物質」をきれいにする力を持っています。この力を強くして、大村湾に入る「水を汚す物質」を減らします。

1 陸域からの水質汚濁負荷物質の処理対策の推進

○家庭や工場、畜産農家などに、排水をきちんと処理するよう呼びかけ、また、下水道、浄化槽など、「水を汚す物質」をきれいにする施設を整備します。

○化学肥料や農薬を使う量を減らした、環境にやさしい農業の推進を目指します。

2 大村湾の水環境の改善

○漁師さんは、海底を耕せば海の水質が良くなること知っています。でも、どうして良くなるのかなど分からないことも多いので、その調査を行います。

○夏になると、海底に近いところの水の中の酸素が少なくなり、そのことと水の汚れとは強く関係しているの、どのくらい酸素が少なくなっているのか調査します。



<森林整備（下刈り）>

**自然
再発見**

自然とふれあえる
大村湾の再発見

大村湾をまもり、有効に活用するためには、まず希少な動植物が生息、生育する、すばらしい大村湾の自然環境を多くの県民の方々に知ってもらうことが必要です。そのため、次の三つの取り組みを考えています。

1 大村湾の自然環境調査の推進

○小中学生や一般住民が参加するスナメリの調査をはじめ、大村湾の自然環境を総合的に調査し、大村湾の貴重な動植物や美しい自然景観などの自然資源の魅力を明らかにして、多くの県民の方々にその魅力を知ってもらうことが必要です。

○住民、団体、それに市町などの行政が互いに情報や意見を交換し大村湾の自然環境へのみんなの理解をもっと深めることが必要です。



<ほとんど人の手の加わっていない池> 西彼町風早の池

2 大村湾の自然とふれあい
楽しむ機会の提供

○各種印刷物やインターネット、イベント開催などを通して、大村湾の自然とふれあえる場所や大村湾の楽しみ方などを紹介することにより、大村湾の自然資源、海洋資源の有効利用・活用を進めていくことが必要です。

3 大村湾の生態系や自然景観
などの保全対策の推進

○広報誌や新聞、テレビなどを通して、大村湾の貴重な動植物や自然景観を大事にし、保護する意識づくりを進めることが必要です。

○同時に、法律などに基づく保護・保全の仕組みを積極的に活用して、景観の悪化を防いだし、大村湾に生息、生育する動植物が絶滅することがないようにする必要があります。



<琴海町西海川河口>

産業振興

大村湾の特性を活かした
水産や観光などの産業の振興

大村湾の水や自然をまもり育むことによつて、その恵みがすつと受けられるような水産業、農業や観光などの産業を伸ばし、大村湾の周りの地域が活性化するように、次の四つのごとくにみんなで取り組むことが必要です。

1

漁場の回復と資源管理・栽培漁業の推進

○魚やナマコなどの貴重な水産資源を増やすため、生息や産卵に適した藻場を増やしたり、魚礁を作ったり、稚ナマコ等を放流したりすることが必要です。



<大村湾のナマコ漁>

2

農水産物のブランドと販路の拡大

○ナマコやシヤコなどの水産物、ミカンやブドウなどの農産物を多くのみんなに知ってもらい、たくさん売れるようにすることが必要です。



<県産品フェア>

3

体験型観光・交流の振興

○ハウスメンボスなどを訪れる多くの観光客が、大村湾の海や水辺で遊んだり、周辺の観光地にもつと足を運んでくれるような工夫が必要です。

○また、訪れた人たちが農業、漁業、焼き物づくりなど地元の産業を直接体験できるように

して、地域の人達との交流を活発にすることも必要です。

4

大村湾環境改善産業

○大村湾の環境改善につながる技術の開発や、開発された製品がたくさん売れるようにするため、支援を通して、環境産業を盛んにしていくことが必要です。

■クイズ③

大村湾のナマコはやわらかいと言われますが、どうしてやわらかいのか、ご存じですか？

答えは19ページです。

住民参加

大村湾の自然と環境を
まもり育む住民参加の促進

大村湾を宝ものとして、まもり育むのはそこに暮らす私たちひとりひとりですから、行政だけでなく、いろいろな世代の住民や事業者、関係団体などが協力して楽しく取り組めるよう次の三つのことにみんなで取り組む必要があります。

1

住民参加を促進する環境学習・啓発活動の推進

○大村湾のすべてがわかるようなセンター的機能を持った拠点施設が必要です。

○大村湾情報誌(スナメリかわら版)や大村湾情報ホームページなどを使って、いろいろな分野の情報を収集、発信することが必要です。

○気軽に楽しく参加できるイベントなどを実施します。

○学校や生涯学習の現場で大村湾の環境を学ぶことも必要です。



<こどもエコクラブの自然体験発表>

2

住民と行政が共に考えた実践活動の推進

○川や海の工事をするときは、環境に十分配慮した方法を採用し、さらに、地域の住民が維持管理に協力でき、環境学習やレクリエーションの場としても使いやすいよう、住民の意見を反映させていく仕組みが必要です。

○また、スナメリ、カブトガニ、ハマボウなどの

調査にも、地元の人や子どもたちが参加できる仕組みが必要です。



<早岐瀬戸でのカブトガニ調査風景>

3

住民と行政、住民相互の協働の推進

○大村湾の周りの地域全体の住民や団体、研究者や行政などが参加し、お互いに連帯できるようなネットワークを進めていく必要があります。

○各地域で活動している住民や団体が活動しやすい拠点の確保など、行政からの支援も必要です。

平成十六年度に

取り組む事業

皆さんの市や町で行われる事業を紹介します。

【波佐見町】

- ① 公共下水道の整備
- ② 合併処理浄化槽の設置
- ③ 中山間地域等における営農活動等への助成
- ④ グリーンクラフトツーリズム
- ⑤ 町内二斉清掃



< 鬼木棚田 (波佐見町) >

【川棚町】

- ① 公共下水道の整備
- ② 合併処理浄化槽の設置
- ③ 堆肥保管施設建設への助成
- ④ 稚ナマコ天然採苗事業への助成
- ⑤ 自然石によるナマコ等の増殖場の整備

【東彼杵町】

- ① 公共下水道の整備
- ② 合併処理浄化槽の設置
- ③ 海底耕うん
- ④ 自然石によるナマコ等の増殖場の整備
- ⑤ 環境学習(河川水生生物調査)

【大村市】

- ① 公共下水道の整備
- ② 大村湾南部流域関連公共下水道の整備
- ③ 市有林等の森林の整備
- ④ 自然石によるナマコ等の増殖場の整備
- ⑤ おおむら道路里親制度



< 大村湾南部浄化センター >

【諫早市】

- ① 大村湾南部流域関連公共下水道の整備
- ② 合併処理浄化槽の設置
- ③ 交通安全施設等の整備
- ④ 廃食用油再利用啓発
- ⑤ いさはやエコフェスタ等





【西彼町】

- ①公共下水道の整備
- ②合併処理浄化槽の設置
- ③河川や海の水質測定
- ④藻場の造成事業への助成
- ⑤観光物産展の開催



<藻場(アマモ場)>



<農産物直売所>

【佐世保市】

- ①合併処理浄化槽の設置
- ②市有林の整備
- ③ナマコの間育成・放流
- ④自然石によるナマコ増殖場の整備等
- ⑤エコシップ事業

【時津町】

- ①公共下水道の整備
- ②合併処理浄化槽の設置
- ③森林整備地域活動への助成
- ④稚ナマコ放流事業への助成
- ⑤ホタルの里づくり

【琴海町】

- ①公共下水道の整備
- ②農業集落排水の整備
- ③合併処理浄化槽の設置
- ④コシエビ等中間育成事業等への助成
- ⑤密漁のない明るい漁村の推進

【多良見町】

- ①大村湾南部流域関連公共下水道の整備
- ②合併処理浄化槽の設置
- ③森林整備地域活動への助成
- ④河川の水質測定
- ⑤稚ナマコの間育成事業への助成



<河川の水生生物調査>

【長与町】

- ①特定環境保全公共下水道の整備
- ②中山間地域等における宮農活動等への助成
- ③森林整備地域活動への助成
- ④ナマコ等の種苗の中間育成・放流事業への助成
- ⑤町民一斉清掃



<森林整備>

事業紹介

■大村湾の生きものを調べよう！

(あなたも今日から大村湾探偵団)

大村湾にはたくさん面白い生きものがあるといわれています。

クジラやイルカの仲間であるスナメリ、生きた化石と呼ばれるカブトガニ、それに美しい花を咲かせるハマボウなどなど、なんか聞いただけでワクワクしてきませんか？

でも、これらの生きものを大村湾のどこに行ったら観察できるのか？、どれだけいるのか？、ほかどんな生きものがあるのか？など、詳しいことは実はわかってないんです。

長崎県では平成16年度と17年度の2年間、大村湾の生きものを調査します。調査は大学の研究者をはじめとして専門家の先生が中心となつて行いますが、より詳しいデータを得るためにも皆さんの協力がぜひとも、必要です。

「スナメリを見た人は、幸せになれるー」かも…

求む！大村湾探偵団!!

大村湾において特に貴重な生きものであるスナメリ、カブトガニ、それにハマボウについて、その詳しい情報を下記にてお寄せ下さい。お待ちしております！

お寄せいただく情報

- ◎発見した生きもの
- ◎発見日時
- ◎発見場所
- ◎発見数
- ◎発見時の状況
- ◎発見者住所・氏名

写真があれば送って下さい。

あて先(お寄せいただく方法は問いません)

長崎県民生活環境部自然保護課
花とみどり班

■住所 〒850-8570

長崎県民生活環境部自然保護課

■電話 直通095-8226-6715

代表095-8224-1111(Eメール)

■FAX 095-820-7647

■メール s03160@pref.nagasaki.lg.jp



■海底を耕すと水質等に どのような効果が現れるのか、 検証します！

大村湾の海底には、水質汚濁の原因となる浮泥が堆積しています。また、海底の泥を分析すると、水産用水基準を満足できないほど汚染されている地点があります。

【「大村湾底質改善調査業務報告書」(平成7年度より)

※水産用水基準とは…

水産の生産基盤として水域の望ましい水質条件として日本水産資源保護協会が示したものです。

なお、現在、水産生物を対象として法的に定められた水質基準はありません。

■どうやって海底を耕すの？

一方、漁業者の方たちの間では、「海底を耕すと、海の環境がよくなり魚が良く獲れるよっだ」といふことが経験的に知られています。しかし、「なぜ海の環境が良くなったのか?」「どのように耕せば高い効果が得られるのか?」、そもそも、「本当に環境が良くなったのか?」など、よく分からないことばかりです。

そこで、琴海町にある形上湾を耕うん場とし

て設定し、海底を耕すと水質や底質、水産有用生物(ナマコやエビなど)等にとどのような効果が現れるのかを科学的に検証します。さらに、得られた検証結果をもとに、効果的な耕うん手法の普及を図ります。

【事業名称】

大村湾環境保全・活性化事業

(うち海底耕うん)

【事業期間】

平成16～17年度(予定)

【平成16年度事業費】

一〇,三九四千円



懇話会委員から大村湾周辺にお住まいの皆さんへ

■「大村湾環境保全・活性化行動計画」を策定するにあたり、専門的知識を持っている人や地域に密着した活動をしている人など十二名の委員で構成する

「大村湾環境保全・活性化懇話会」を設置し、意見や助言などをいただきました。

その懇話会委員のうち十名の方から大村湾の周りの地域の住民の皆さんに次のようなメッセージをいただきましたので紹介します。

■中田英昭委員（長崎大学水産学部 教授）

「規制の時代」から「再生の時代」へと海の環境保全の施策は大きな転換期を迎えています。大村湾の大きな特徴の一つはその著しい閉鎖性にあります。巨汚染が進むと回復には相当の時間がかかります。夏になると海底付近が酸欠状態になる現状が関係各方面の協力・協働により少しずつ改善されることを願っています。

■中尾静子委員（東彼杵郡地域婦人団体連絡協議会 会長）

波静かな大村湾が、見た目には何ら変わらぬ様子なのに年々汚染されていくことに常々心を痛めていました。川棚町には、いのちとくらしを守る会があります。この会では、「大村湾をきれいにしましょう」という目的で合成洗剤追放運動を行っています。主婦の立場からこの懇話会に参加させて頂きましたことに感謝いたします。

■菅 洋委員（とりかぶと自然学校代表）

大村湾は周囲を大方、山に囲まれ、多くの河川が流入しています。しかし、ほとんどが小川で、その流域も都市化し、山林は針葉樹林などの人工林が多いので、陸域における自然浄化や保水能力、栄養供給に限界があります。昔の「天然林に囲まれた大村湾」を取り戻すため、特に子ども達への環境教育に力を入れていきたい。



懇話会の様子
(右側から順に奥、菅、佐木、竹村、田中各委員)

■松田孝成委員（大村湾南部漁業協同組合 組合長）

海を生活の場とする漁業者の気持で住民の皆様は訴えます。閉鎖性の強い大村湾の海は僅か40年足らずで人間の手によって汚染が進み魚介類や海藻が激減しています。食料である漁業資源を復活するには海の環境を良くすることが必要であり、今回の行動計画が周辺住民の一人ひとりの問題として位置づけられ行動の輪が広がることを強く願っています。



■濱砂博信委員(長崎総合科学大学工学部 助教授)

大村湾は空の玄関である。飛行機の窓から島原半島の馬鈴薯畑を見下ろしながら暫くすると、波静かな大村湾が視界に入り長崎に帰ってきたことを実感する。県外からの来訪者にしてみれば最初に目にする長崎の海であり、視覚的にも蒼く美しい海であってほしい。

■奥 真美委員(長崎大学環境科学部 助教授)

大村湾にスナメリが生息していることを知ってからは、長崎空港を利用するたびに、波間にその姿を発見できないかとワクワクしながら機内で眼を凝らしています。やわらかい藍色の穏やかな水をたたえた大村湾は、長崎県の貴重なシンボルです。ぜひ、私たちがこの美しい大村湾とそこに棲む豊かな生物を守り育てていきたいと思います。



懇話会の様子
【渡部座長あいさつ(正面左側)、中田副座長(正面右側)】

■田中宏和委員(大村湾再生研究協議会会員)

田中委員におかれましては、今年の2月1日にご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。なお、田中委員からは計画の策定にあたり「住民と一体となるためには、小さな地域の中で実績を上げていき、効果のあるものを広げていってほしい」などたくさんのご貴重なご意見をいただきましたことを皆さんにご紹介させていただきます。



懇話会の様子
(左側から順に吉年田、松田、藤原、濱砂、中尾各委員)

■渡部克子委員(長与環境サポーター養成講座修生の会 代表)

自然を大事にしない限り自分たちの未来はないのだと、人間達はいつ気付くのだろうか？湖とも表現されるほど静かな表情を見せている大村湾は、以前の澄みきった水色を失ってしまった。人間たちの横暴さに悲鳴を上げているように私には思える。湾岸の住民たちよ、支配することを止めてくれ！ともに生きること考えてくれ！

■藤原達志委員(玉木女子短期大学 事務局長)

大村湾がまだスナメリが生息できる自然環境にあることを素直に喜びたい。19世紀初、大村湾について、文人頼山陽は瑠璃色の美しさにたとえ、出島の商館医シーボルトは本物の真珠が取れる美しい海であると称えている。海辺で遊び、貝掘りなどを楽しめるような美しい大村湾を二日も早く皆の力で取り戻したいものです。

■竹村 暘委員(長崎大学水産学部 教授)

人は多くの生物からなる生態系の一構成要素にすぎないにもかかわらず、思うがままに改造し、人が住みよいと考えた生態系に作り替えてきた。個々の人のしたことは些細なことになかったが、作り替えられた生態系には行き残れない生物すら出てきている。大村湾の生物がそうならないことを願っている。

■佐木杏子委員(豊海町農業農村活性化協議会 副会長)

マア貝捕り、したことがありますか。砂浜に開いた穴へ塩を入れて待ち伏せします。一度やると、おもしろくてきつとやみつきになりますよ。大村湾は二重閉鎖性という特殊な環境ゆえに、ここにしかないおもしろいこと、美味しいもの、不思議なことがたくさんあります。見つけに来ませんか、大村湾のオンリーワン。

注 役職等は平成15年7月現在です。

情報ひろば

■早岐茶市

「茶市で出会った心のふれあい」

昔は山の産物と海の産物を物々交換して始まったという四百年の伝統をもつ市。かつて流通の重要な道だった早岐瀬戸沿いに四百余りの店が建ち並び、昔ながらの売り手と買い手の会話ははずむ買い物が楽しめます。

●とき／初市5月7日～9日

中市5月17日～19日

後市5月27日～29日

梅市6月7日～9日

●ところ／早岐瀬戸海岸沿い(観潮橋近く)

●問合せ先／早岐商工振興会

TEL0957・638・1503

■花しゅじゅびまつり

西日本随一の景観を誇る花菖蒲園。約30万本の花菖蒲が鮮やかに公園を彩る中、多彩な催しを予定しています。まつりに合わせ、花の街スケッチ大会も同時開催されます。

●とき／6月上旬

●ところ／大村公園内

●入場料／無料

●問合せ先／大村市商工観光課

TEL0957・53・4111(内線242)

■宝くじ文化公演

「アルフレッド・ハウゼ・タンゴオーケストラ」

六十年代に世界のタンゴブームに火をつけた楽団の大村公演。美しいストリングの響に、コンチネンタル・タンゴの甘い調べ。パリのダンスホールのような華やかでお洒落な演奏をお楽しみください。

●とき／6月2日(水)開場18時30分・開演19時00分

●ところ／大村市民会館

●入場料／S席＝3000円・A席＝2500円

●問合せ先／シーハットおおむす

TEL0957・2007200

■カナリーインフォメーション

ときつカナリーホール

TEL095・882・0003

①音楽見本市&カナリー音の博物館

楽器の無料体験・展示即売・ロビーコンサート

●とき／6月12日(土)～13日(日)

●入場料／無料

②室内楽名曲コンサート

(小学生未満のお子さんは入場できません)

●とき／6月24日(木)19時～

●入場料／一般2000円(当日2500円)・大学生1000円(当日1500円)・高校生以下500円(当日800円)

●全席指定・託児サービス有り(名1000円)

要予約)

③魂のゴスペル「エボニーソウル」コンサート

(小学生未満のお子さんは入場できません)

●とき／7月7日(水)19時～

●入場料／一般2000円、高校・大学1500円、中学生以下1000円(当日各500円アップ)

④人形劇「キナコちゃんダンス」

●とき／7月30日(金)18時30分～

●入場料／一般・学生500円(当日700円)、小学生以下(三歳以上)200円(当日300円)

野口弥太郎、棟方志功、北村西望、マルク・シヤガール等の長崎県所蔵の作品の移動展覧会です。

■長崎と世界の名画名品展覧会

野口弥太郎、棟方志功、北村西望、マルク・シヤガール等の長崎県所蔵の作品の移動展覧会です。

●とき／5月21日(金)～25日(火)

●ところ／川棚町中央公民館

●入場料／無料

●問合せ先／川棚町教育委員会

TEL0956・822・2064



■川棚茶市

1912年に初夏の風物詩として、海の幸と山の幸との物々交換から始まった川棚茶市。近海の水産物・焼物陶芸品等の販売、地元生産者による新鮮野菜等の販売、露天出店があり、多くの人々で賑わいます。

●とき／5月21日(金)～23日(日)

●ところ／川棚漁港周辺

●問合せ先／川棚町観光協会

TEL0956・822・2691

■祇園祭

神輿をくぐると病気をしないといわれるこの祭りは、「ぎおんさん」の呼び名で親しまれ250年以上も続く伝統行事。

●とき／7月24日(土)～25日(日)

●ところ／川棚町下組～平島

●問合せ先／常在寺

TEL0956・822・20025

■NHK全国巡回ラジオ体操

夏休み朝のラジオ体操の地方中継

●とき／7月26日(月)

●ところ／川棚町中央公園運動広場

●入場料／無料

●問合せ先／川棚町商工会画課

TEL0956・822・3131

■大村湾フローティングスクール

船に乗って、大村湾の魚や環境について楽しみながら勉強する企画です。

●とき／8月上旬(詳細未定)

●問合せ先／県環境政策課

TEL095・824・1111(内線2353)

■大村湾環境保全・活性化行動計画 オープニングイベントのお知らせ

ふるさとの海、大村湾とまわりの環境、そして私たちの暮らしとの関係を考えるイベントです。水中写真家として世界各地の海を写してきた中村征夫さんのお話や、「大村湾の今昔」写真コンクール表彰と写真展など、楽しみながら大村湾の環境について考える一日です。



- とき／6月6日(日)
- ところ／シーハットおおむら さくらホール(大村市役所隣)
- 入場料／無料
- スライド&トーク／中村征夫(水中写真家)
- 問合せ先／県環境政策課095-824-1111(内線2353)

■クイズの回答

1 黒田五寸人参

名称の由来は、品種改良に携わった農家の1人である「黒田さん」の名前を取り、昭和23年に「黒田五寸人参」と命名されました。特徴は、「色が良い」「甘い」「カロチンが多い」などで、品質が優れていると高い評価を受けています。

2 COD

海水などの汚れの度合いを示す指標の一つです。数値が高いほど、水中の汚染物質の量も多いということを示しています。

3 大村湾のナマコ

大村湾のナマコは、正月には欠かせない一品ですが、食用とされているのは、マナマコという種類です。赤ナマコは岩礁地帯に、青ナマコは砂泥地帯に多く生息しています。大村湾は波静かで穏やかなためナマコの身は柔らかく美味であり、昔から大村湾ナマコの名称で流通しています。

特集 大村湾の希少動植物

大村湾の希少な生きものをシリーズで紹介
します。第1回目となる今回は、希少な海棲ほ
乳類で大村湾のシンボルともいえるスナメリで
す。

「スナメリ」

スナメリは世界で一番小さなイルカ、クジラの
仲間(ネズミイルカ科)で、水産資源保護法に基
づく保護動物であるとともに、水産庁のレッド
データブックでは希少種、県のレッドデータブ
ックでは絶滅危惧Ⅱ類にランクされています。

2000年に環境省が実施した調査では、大
村湾に300頭程度が生息することが明らか
となつていますが、研究者によると我が国のス
ナメリ個体群では、大村湾のスナメリ個体群が
もっとも絶滅のおそれが高いと言われています。

スナメリは水深50m以下の比較的浅い海域に
生息することから、沿岸域の環境変化の影響を
受けやすい動物でもあります。また、餌となる
小魚を追い回している最中に網にかかったり、

あるいは船のスクリューによって傷つけられる
ケースもあるようです。

◎スナメリの特徴

- イルカのような背びれが無く顔はまあい
- 体長：1.6～1.7m
- 体重：40～60kg
- 餌：カタクチイワシ等の小魚類

○分布

- 世界：インド洋～南シナ海、揚子江、黄海、韓国
- 日本：大村湾のほか、有明海～橘湾、瀬戸内海、
伊勢湾～三河湾、仙台湾～東京湾



スナメリ[「マリノワールド海の中道」福岡市で撮影]



大村湾上空から撮影したスナメリ

大村湾周辺にお住まいの
皆様の情報誌です。

スナメリ かわら版



平成16年4月発行
編集・発行 / 長崎県環境政策課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13
TEL095-822-4721 FAX095-820-4085

■大村湾に関する環境情報を提供してください。■

- | | | |
|------------|--------------------------------------|-------------------|
| ■長崎県環境政策課 | ◎電話 095-822-4721 | ◎FAX 095-820-4085 |
| | ◎E-mail omurawan@pref.nagasaki.lg.jp | |
| ■佐世保市環境保全課 | ◎電話 0956-24-1111 | ◎FAX 0956-34-4477 |
| ■諫早市環境保全課 | ◎電話 0957-22-1500 | ◎FAX 0957-22-9137 |
| ■大村市企画調整課 | ◎電話 0957-53-4111 | ◎FAX 0957-52-2902 |
| ■多良見町住民環境課 | ◎電話 0957-43-1111 | ◎FAX 0957-43-1159 |
| ■長与町環境対策課 | ◎電話 095-883-1111 | ◎FAX 095-883-2061 |
| ■時津町住民環境課 | ◎電話 095-882-2211 | ◎FAX 095-881-2764 |
| ■琴海町住民環境課 | ◎電話 095-885-2111 | ◎FAX 095-886-3937 |
| ■西彼町町民課 | ◎電話 0959-27-1111 | ◎FAX 0959-27-1153 |
| ■西海町町民課 | ◎電話 0959-32-1116 | ◎FAX 0959-32-0421 |
| ■東彼杵町保険衛生課 | ◎電話 0957-46-1111 | ◎FAX 0957-46-0884 |
| ■川棚町保健衛生課 | ◎電話 0956-82-3131 | ◎FAX 0956-82-3134 |
| ■波佐見町住民課 | ◎電話 0956-85-2111 | ◎FAX 0956-85-5581 |